

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-92	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	英 I ・ 332	DUALSCOPE English Expression I		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

本教科書の編修にあたっては、学習者が**日常的な話題**を通じて**人間性や社会性**を育むことができ、かつ、**基本的な英語の運用能力**や、**英語を用いて積極的にコミュニケーション**を図ろうとする態度を育成できる内容・構成となるよう留意した。

## 2. 編修の基本方針

編修の基本方針として、学習者の生活に即した題材を用いて、英語による**基礎的かつ実践的な発信技能**を習得させること、またそれによって**積極的にコミュニケーション**を図り、事実や意見などを**多様な観点から考察する姿勢や能力を養う**ことが可能となるよう留意した。

1. 言語活動の題材は学習者に親しみやすく、かつ、学習者の**生きる力**を育成する内容豊かなものを選んだ。
2. 言語材料に関しては、中学校との連携を考慮して**基本事項の定着**を重視するとともに、その基礎を活用して**英語表現の能力**を伸ばすことが可能となるように選定した。
3. 「書く」「話す」の**生産的 2 技能**を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の**受容的 2 技能**とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が**幅広い言語活動**に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を習得して、主体的に**社会の形成に参画**し、**自他国の伝統・文化を尊重**しつつ、**国際社会の平和と発展に寄与**する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

## 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し CAN-DO List for Active English	・各課の目標を具体的に提示することで、学習意欲を喚起するとともに、英語による表現活動への取り組みを促して、自主及び自立の精神を養う。(第2号)	前見返し
後見返し CLASSROOM ENGLISH	・教室で用いる基礎的な英語表現を習得する。(第1号) ・相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号)	後見返し  後見返し

<p>LESSON 1～10</p>	<p>&lt;導入ページ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で表現するための基本的な知識を習得する。(第1号)</li> <li>・使用場面や機能を念頭において、言語の実際の使われ方を理解しようとする。(第1号)</li> <li>・言語の身近な使用例から、コミュニケーション・ツールとしての英語の重要性を認識する。(第5号)</li> <li>・男女・人種等において、偏りが生じないように配慮することで、平等意識や公平の観念を養う。(第3号)</li> <li>・環境問題や世界遺産を扱う題材を通じて、環境保全に寄与する態度を養う。(第4号)</li> <li>・リニア中央新幹線や浮世絵を扱う題材を通じて、日本の科学技術や伝統文化への理解を深める。(第5号)</li> </ul> <p>&lt;文法ページ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を習得する。(第1号)</li> <li>・英語で表現する際のポイント等を理解し、コミュニケーションを図る力を培う。(第1号)</li> <li>・英語で表現するための基本的な知識を、反復練習により定着させる。(第1号)</li> <li>・自己表現活動を通じて、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。(第2号)</li> <li>・ペアワーク等を通じて、相互の意見や関係性を尊重する態度を養う。(第3号)</li> <li>・コミュニケーション・ツールとしての英語の重要性を認識する。(第5号)</li> </ul> <p>&lt;課末ページ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の働きを踏まえ、様々な場面でコミュニケーションを図る力を培う。(第1号)</li> <li>・相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号)</li> <li>・文化祭等、共同作業を扱う題材を通じて、豊かな情操と道徳心を培う。(第1号)</li> <li>・職業体験を扱う題材を通じて、職業への意識づけを行い、勤労を重んずる態度を養う。(第2号)</li> <li>・社会福祉施設での体験を扱う題材を通じて、公共の精神、社会への参画を意識させる。(第3号)</li> <li>・戦争を扱う題材を通じて、命を尊ぶ意識を養う。(第4号)</li> <li>・留学等を扱う題材を通じて、国際社会の一員である自覚を促す。(第5号)</li> </ul>	<p>解説文 (6,14 頁他)</p> <p>INTRO ACTIVITY (7,15 頁他)</p> <p>Grammar in Action (7,15 頁他), 写真 (28,38 頁他)</p> <p>写真・イラスト全般</p> <p>INTRO ACTIVITY (49,87 頁他)</p> <p>INTRO ACTIVITY (15,69 頁他)</p> <p>解説 (8,10 頁他)</p> <p>Scope for Expression (8, 10 頁他)</p> <p>EXERCISES (9,11 頁他)</p> <p>Let's Try! (9,11 頁他)</p> <p>Let's Try! (9,11 頁他)</p> <p>Let's Try! (9,11 頁他)</p> <p>REVIEW ACTIVITY (12,24 頁他)</p> <p>Further Activity (13,25 頁他)</p> <p>REVIEW ACTIVITY (L.2,3,5,7,8)</p> <p>REVIEW ACTIVITY (L.4)</p> <p>REVIEW ACTIVITY (L.4)</p> <p>REVIEW ACTIVITY (L.10)</p> <p>REVIEW ACTIVITY (L.1,2,6)</p>
<p>SEMINAR①～⑤</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語でプレゼンテーションするための基本的な知識を習得する。(第1号)</li> <li>・プレゼンテーションにおける相手への敬意と気遣いの重要性から、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第3号)</li> </ul>	<p>解説 (26,46 頁他)</p> <p>解説 (104～106 頁)</p>
<p>後付</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で表現するための基本的な知識を、反復練習により定着させる。(第1号)</li> <li>・身の回りの事柄に関する語彙を増やし、さまざまな話題について英語で表現する能力を養う。(第1号)</li> </ul>	<p>Sentences (108～123 頁)</p> <p>Words &amp; Phrases (124～132 頁)</p>

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

##### I. 教科書の特色

###### A. 文法・機能表現の習得からその活用までをスムーズに展開・・・・・・・・・・LESSON 1～10

###### 1. 各レッスン3セクション構成

各レッスンは導入ページ（イントロダクション）、文法ページ（インプット、インテイク、アウトプット）、活動ページ（アウトプット）の3つのセクションで構成されます。

###### 2. 各セクション2ページ構成（見開き構成）

各セクション（学習項目ごと）は見開き2ページで構成。学習内容が一目でわかるため、学習意欲を喚起しやすく、授業もテンポよく進めることができます。

###### B. プレゼンテーション活動を無理なく展開・・・・・・・・・・SEMINAR①～⑤

###### 1. プレゼンテーションの基本が集中的に学習できるセミナー形式

「主題・展開を決める」「情報や考えを整理する」など、プレゼンテーションの組み立てを考える際の流れに即し、全5回に分けてプレゼンテーションの基礎知識が習得できます。

###### 2. 学習者主体で展開できるワークショップ形式

習得した知識をワークショップ形式で実践。説得力のあるプレゼンテーションとするため、WORKSHOP 1では内容の整え方を、WORKSHOP 2では発音の仕方を学習します。

##### II. 各課の構成

###### A. LESSON 1～10：文法・機能表現の「理解・定着」から「活用」までをスムーズに展開。

###### 1. 導入ページ（1見開き／課）

**INTRO ACTIVITY**：親しみやすい活動素材とリスニングで、文法・機能表現を導入。

You are reading a newspaper.


**STEP 1** Find out about the Linear Express.

DECEMBER 23, 2014  
Week in Review | News

**Railroad**

**Superexpress Dream Moves Toward Reality**

On December 17, 2014, construction finally began. A Japanese railroad company had been working on the Linear Express since 1962. The company is planning to connect Tokyo and Osaka in about one hour. A service between Shinagawa and Nagoya will start around 2027. The railroad industry has taken a great step forward.



If you have been to any jazz or stop!

**STEP 2** Listen and answer true or false.

(1) T / F (2) T / F (3) T / F

###### ◀ LESSON 2


「さまざまな『時』を表現する」

**Grammar in Action**：文法・機能表現の身近な使用例を紹介。

**Grammar in Action**

Ladies and gentlemen. Welcome to the Shinkansen.  
This is the Nozomi Superexpress bound for Shin-Osaka.

① We will be stopping at Kyoto Station before arriving at Shin-Osaka Terminal.  
② We will soon make a brief stop at Nagoya.



###### ◀ LESSON 2

「さまざまな『時』を表現する」

## 2. 文法ページ (2~4 見開き/課)

**解説:** 英語表現の基盤を築く文法知識を習得. さらに, **Scope for Expression** では「文法」を「表現」につなげるポイント等も紹介.

**現在時制**

37  
38  
39

ことが多い.



**Scope  
for Expression**

現在時制は現在の一時点だけでなく、過去から未来へと続く幅のある「時」を表す.

ing to do)

45  
46

ことを表す.  
合に用いる.

ng. 47

9.  
その場で「~しよう」と思うこと  
The phone is ringing.  
—○ I'll answer it.  
× I'm going to answer it.



◀ LESSON 2  
「さまざまな『時』を表現する」

**EXERCISES:** 演習形式で文法知識を定着. また, 与えられた状況を踏まえて表現する設問など, 英語表現らしい形式も用意.

**Write new sentences with similar meanings.**

(1) Yurina is 160 centimeters tall. Her brother is 163 centimeters tall.  
→ Yurina is ( ) centimeters ( ) than her brother.

(2) Takuya could jump so high when he was young, but now he can't.  
→ Takuya ( ) jump ( ) ( ) as he could.



◀ LESSON 8 「比較を使って表現する」

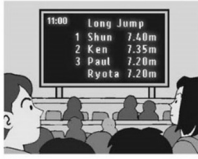
**Let's Try!:** 文法知識を活用し, 英語で表現する活動へと展開.

[① イラスト・写真を表現, ② 自分自身や友だちのことを表現]

**Let's Try!**

① Look at the picture and make sentences.  
Ex. Ken jumped farther than Paul and Ryota.  
**Hints** far / farther / farthest

② Talk or write about your friends.  
Ex. Shiho is the tallest girl in my class. In fact, she is 10 centimeters taller than me.





◀ LESSON 8 「比較を使って表現する」

## 3. 課末ページ (1 見開き/課)

**REVIEW ACTIVITY:** 文法・機能表現に注意しながら, **リスニング**をしてキーワードをノートテイキング (**STEP 1**). さらに, そのノートを参考にして英文完成 (**STEP 2**).

Amy and Daiki are making a program for the school festival.

**STEP 1** Listen to the dialog and take notes.

Order of performance: the drama club ( ) the brass band

Must not: bring ( ) or ( ) into the hall

Lunchtime: Students from ( ) to ( )

Visitors after ( )

Must not: ( ) the exhibits

◀ LESSON 3 「助動詞を使って表現する」

**STEP 2** Use your notes and complete the program.

**ABC HIGH SCHOOL FESTIVAL**

★ **Timetable**

Time	Performers
9:00- 9:50	Chorus
10:00-10:50	( ) ( )
11:00-11:50	( ) ( )
13:00-13:50	Traditional Japanese music club

★ **Rules**

\* You must not ( ) ( ) ( ) ( ) into the hall.

\* You must not ( ) ( ) ( ) ( ).

\* Students can use the cafeteria between ( ) and ( ).

\* Visitors can use the cafeteria after ( ).

◀ LESSON 3 「助動詞を使って表現する」



# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-92	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	英 I ・ 332	DUALSCOPE English Expression I		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### I. 全般的な留意点

- A. 題材は学習者の人間として**調和のとれた成育**に寄与するもので、学習者の実生活に即応した**バラエティに富んだ内容**（言語材料、言語使用の状況など）を取り揃えた。
- B. 文法をコミュニケーションを支えるものとしてとらえ、**文法指導を言語活動と一体的に展開**できるように、随所に**文法知識の活用を促す活動素材**を設けた。
- C. 英語を通じて、**積極的にコミュニケーションを図る態度**を育成するため、**指示文は極力英語を用いた**（ただし、プレゼンテーションにおける活動指示など、適宜日本語を使用した）。
- D. 事実や意見などについて、**多様な観点からの考察や表現上の工夫**がなされるように、**学習者間の相互交流**を意識した言語活動を多く設け、**学習者中心の授業展開**ができる構成にした。

### II. 教科書の構成

- A. **導入ページ**：その課の学習項目（文法・機能表現）を身近な使用例を通して導入。

①



②

**INTRO ACTIVITY**

You are reading a newspaper.

STEP 1 Find out about the Linear Express.

DECEMBER 23, 2014  
Week in Review / News

**Railroad**

**Superexpress Dream Moves Toward Reality**

On December 17, 2014, construction finally began. A Japanese railroad company had been working on the Linear Express since 1962. The company is planning to connect Tokyo and Osaka in about one hour. A service between Shinagawa and Nagoya will start around 2027. The railroad industry has taken a great step forward.

STEP 2 Listen and answer true or false.

(1) T / F    (2) T / F    (3) T / F

**Grammar in Action**

Ladies and gentlemen. Welcome to the Shinkansen. This is the Nozomi Superexpress bound for Shin-Osaka.

- We will be stopping at Kyoto Station before arriving at Shin-Osaka Terminal.
- We will soon make a brief stop at Nagoya.

③

- ① **トピラ**：その課の学習内容（文法・機能表現）を連想させる写真で、学習意欲を喚起。
- ② **INTRO ACTIVITY**
  - STEP 1：言語の使用場面・機能を念頭に、その課で学習する文法の使い方を確認。
  - STEP 2：STEP 1 の確認問題（リスニング）。
- ③ **Grammar in Action**：その課で学習する文法の身近な使用例を確認。

**B. 文法ページ：**文法知識の習得・定着から活用まで，表現活動を円滑に展開。

**PART 1 do / did / will do and be going to do**

**1 現在の状態・習慣などを表す 現在形**

- His parents live in Paris.
- My sister plays tennis on Sundays.
- The earth goes around the sun.

1. 現在の状態 「～である、～している」  
 2. 現在の習慣 「～する」 決まった日や頻度を表す(動詞)を伴うことが多い。決まった日曜を表す時: on Sundays, every day, etc.  
 3. 繰り返ることのない事実や真理

**2 過去の状態・動作などを表す 過去形**

- Ann was very busy when I visited her.
- My cousin played the piano at the party.
- I often played soccer with my friends when I was a boy.

4. 過去の状態 「～であった、～していた」  
 5. 過去の動作 「～した」  
 6. 過去の習慣 過去において習慣的・反復的に行った動作を表す。

**3 未来を表す表現**

1. 未来の予定、話し手の意志を表す (will do)

- I will [I'll] be seventeen next month.
- I will study in Australia next year.

7. 確信未来 「～だろう」  
 主語や話し手の意志が強く、やがてである事象を表す。  
 8. 意図未来 「～するつもりだ」 話し手の意志を表す。

9. 意図・計画、近い未来を表す (be going to do)

- I'm going to see the doctor tomorrow.
- It's very cold. It's going to snow.

9. 意図・計画 「～するつもりだ」 意図から考えられていること、計画していることを表す。  
 10. 意図未来 「～するつもりだ」 話し手の意図から話し手がそう行動する場合には用いる。

11. 現在形で未来を表す

- The first train for Tokyo leaves at six tomorrow morning.
- I'll call you when my mother comes home.

11. 建設的未來 確かな予定・規則、行程などを表す。  
 12. 条件を表す条件節の後 原則、未来のことでも現在形が表す。

**EXERCISES**

**A Change the verbs into the correct form.**

- Yuri (travel) to Canada last June.
- Steve (have) two handsets now.
- Oil (float) on water.
- These days, Ken (come) home at 6 p.m.
- Yuta often (go) to the lake when he was a child.
- Cathy usually (eat) breakfast, but she (not eat) anything yesterday.

**B Fill in the blanks to complete the sentences.**

- その空港は平日はほとんど空いているだろう。  
The airport ( ) ( ) very crowded on Saturday.
- 最も遅い列車は1時間遅くなる。  
The last bus for Hakata Station ( ) in an hour.
- アヤは今年の8月にローマを訪れるつもりだ。  
Aya is ( ) ( ) visit Rome this August.

**C Complete the sentences with the words in brackets.**

- (a / at / my brother / trading company / works).
- I will (when / comes / begin / Kei / the lesson).
- My uncle (ago / in / lived / ten years / Hong Kong).
- Thank you so much. (won't / kindness / forget / your / I).

**D Express the following in English.**

- 日本にはたくさん温泉がある。(hot springs)
- 私は1週間前に東京へ行った。今は元気だ。
- ジム(Jim)は今週末ランニング活動をするつもりだ。[do volunteer activities]
- 私がまだチケットを買っていません。(at the window)
- ミキのハイオーストラリアに向けて出発するのを助けていますか。

**Let's Try!**

This is the schedule book you lost. Prove you are the owner.

The	3	18:30-	dinner with grandma
Thursday	4	14:00-18:00	tennis school
Friday	5	10:00-18:00	karaoke with Jenny
Saturday	6		

- What did you do yesterday?
- What do you do on Saturdays?
- What are you going to do tomorrow?

① 解説・Scope for Expression：表現の骨組みとなる文法知識を習得（インプット）。

② EXERCISES：問題演習に取り組み，文法知識を定着（インテイク）。

③ Let's Try!：文法知識を活用した表現活動（アウトプット）。

**C. 課末ページ：**言語の使用場面・機能を念頭に，文法知識を活用して表現活動を展開。

**REVIEW ACTIVITY**

Topic	Grammar	Function
旅行	動詞	計画する、予定する

A group of American students is visiting your school.

**STEP 1** Listen to the tour conductor and complete the schedule.

Day	Time	Activity
Monday, July 10	2:00 p.m.	( ) at Kansai International Airport Welcomed by the staff of ABC High School Meet your ( ) ( )
Tuesday, July 11	8:30 a.m.	Meets at the school gate Go to Himeji Castle by ( )
	12:30 p.m.-1:30 p.m.	Lunch
	1:30 p.m.-3:00 p.m.	Visit the Museum of ( )
4:00 p.m.	Return to school	
Wednesday, July 12	8:30 a.m.-12:30 p.m.	( ) in lessons at ABC High School
	12:30 p.m.-1:30 p.m.	Lunch
	1:30 p.m.-3:30 p.m.	Attend a ( ) ( )
( ) p.m.	Departure	

**STEP 2** A student on the tour wrote in her journal. Read and guess the missing words.

Tuesday, July 11

When I ( ) at the school gate, the others were already there. We ( ) a bus to Himeji. The castle was white and really graceful! Next, I ( ) on the 12 layers of robes in the museum. I ( ) never ( ) a kimono before. We ( ) a lot of pictures in Himeji. Tomorrow ( ) ( ) the last day of our tour. I hope we can come back one day.

**Further Activity**

**TASK A** Write your plan for the weekend or the summer vacation.

① WEEKEND	② SUMMER VACATION
Ex. I'm going to go to an aquarium.	Ex. I'm going to study abroad for a week.
*	*
*	*

**TASK B** Get into pairs. Ask your partner about his or her plan.

Ex. ① Do you have any plans for this weekend?

—  
What are you going to do there?  
—  
Are you going to go anywhere else?  
—

② What are you going to do this summer?  
—

**TOOL BOX**

計画・予定について述べる I have a plan to do ~ I plan to do ~ I'm going to do ~ I'm planning to do ~ I'm thinking of (about) doing ~ I might do ~	相手の予定・計画を尋ねる Do you have any plans for ~? What are you going [planning] to do ~? 計画・期日を表す語句 tomorrow / the day after tomorrow / this weekend / next week (month / year) / next Sunday (Monday) / this coming three-day holidays / during the spring / summer / winter's vacation
---	--

① REVIEW ACTIVITY

STEP 1：英文を聞いて，ノートテイキング（リスニング）。

STEP 2：STEP 1の内容を踏まえて英文を完成。

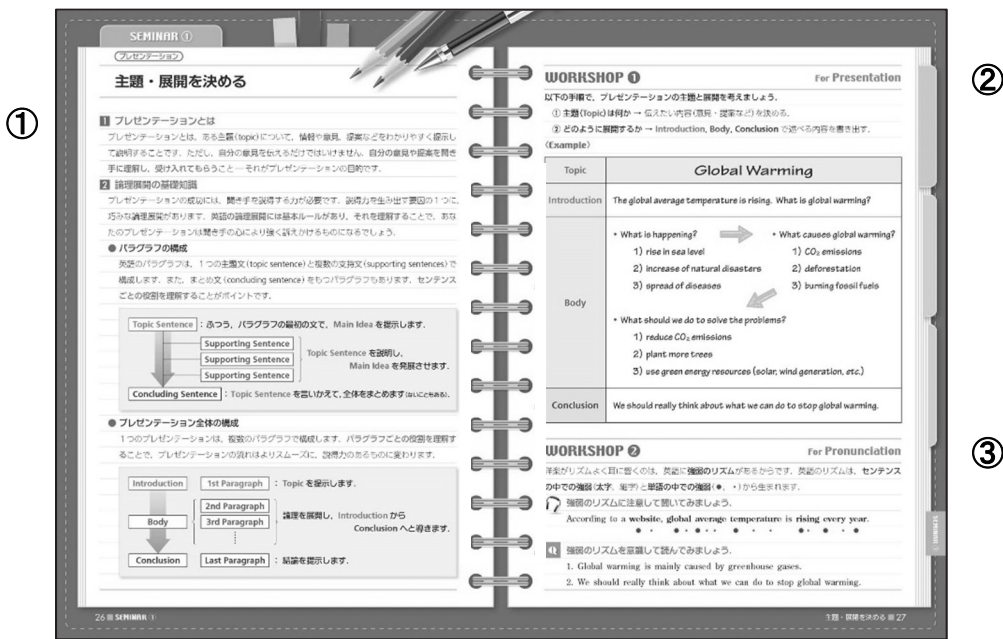
② Further Activity

TASK A：言語の使用場面・機能を念頭に英文を作成（ライティング）。

TASK B：TASK Aの内容をヒントに，ペアワーク・グループワーク（スピーキング）。

③ TOOL BOX：各機能特有の有用表現を紹介。

D. セミナーページ：プレゼンテーション演習（スクリプト作成，発音指導）を全5回で展開。



- ① 解説：プレゼンテーションに必要な知識を習得。
- ② WORKSHOP 1：Example を参考に，プレゼンテーション用原稿を作成。
- ③ WORKSHOP 2：英語らしく，かつ説得力のある発音の仕方を学習。

E. 教材配当表 <B5判・144ページ・4色>

LESSON		Function	Topic
1	英語の型で表現する	紹介する	自己紹介，興味・関心
2	さまざまな「時」を表現する	計画する，予定する	交通，旅行
3	助動詞を使って表現する	依頼・勧誘する等	クラブ活動，学校生活
4	受動態を使って表現する	感情を表す	発明・発見，職業
5	不定詞を使って表現する	願望・目的を述べる	未来生活，夢・目標
6	動名詞を使って表現する	感謝する，謝る	コミュニケーション，交流
7	分詞を使って表現する	説明する①	日本文化，科学技術
8	比較を使って表現する	比較する	イベント，ファッション・ショッピング
9	関係詞を使って表現する	説明する②	世界遺産，風習・習慣
10	仮定法を使って表現する	仮定する，願望する	環境，歴史
SEMINAR		WORKSHOP 1	WORKSHOP 2
①	主題・展開を決める	パラグラフの構成	リズム
②	情報や考えを整理する	つながり表現	ポーズ
③	発表の仕方を工夫する	資料活用・有用表現	チャンク
④	内容を見直す	推敲	イントネーション
⑤	発表内容を理解して意見を述べる	ノートテイキング	---
※①～④ではプレゼンテーションをする側の学習項目，⑤では聞く側の学習項目をそれぞれ扱う。			



## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	箇所	配当 時数
LESSON 1～10	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1)-ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>(1)-イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。</p> <p>(1)-ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。</p> <p>&lt;内容の取扱い&gt;</p> <p>(1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。</p> <p>(2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。</p> <p>(3) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p> <p>&lt;〔言語の使用場面の例〕の取扱い&gt;</p> <p>a 特有の表現がよく使われる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買物</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・電話での応答</li> <li>・手紙や電子メールのやりとり</li> </ul> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での学習や活動</li> <li>・地域での活動/職場での活動</li> </ul> <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本、新聞、雑誌などを読むこと</li> <li>・テレビや映画などを観ること</li> <li>・情報通信ネットワークを活用し情報を得ること</li> </ul> <p>&lt;〔言語の働きの例〕の取扱い&gt;</p> <p>b 気持ちを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・謝る/感謝する</li> <li>・望む</li> <li>・驚く</li> </ul>	<p>(1)-ア 導入写真 (6,14 頁他) Grammar in Action (7,15 頁他) Let's Try! (9,11 頁他) Further Activity - TASK B (13, 25 頁他)</p> <p>(1)-イ REVIEW ACTIVITY - STEP 1 (12,24 頁他) Further Activity - TASK A (13, 25 頁他)</p> <p>(1)-ウ INTRO ACTIVITY (7,15 頁他) REVIEW ACTIVITY (12,24 頁他)</p> <p>(1) Let's Try! (9,11 頁他) Further Activity (13, 25 頁他)</p> <p>(2)(3) INTRO ACTIVITY (7,15 頁他) Let's Try! (9,11 頁他) REVIEW ACTIVITY (12,24 頁他) Further Activity (13, 25 頁他)</p> <p>a Further Activity (83頁) Further Activity (25 頁) Grammar in Action (49 頁) Grammar in Action (7 頁) REVIEW ACTIVITY (64 頁)</p> <p>b INTRO ACTIVITY (29 頁) REVIEW ACTIVITY (44 頁)</p> <p>c INTRO ACTIVITY (15 頁) REVIEW ACTIVITY (74 頁) INTRO ACTIVITY (7 頁)</p> <p>b INTRO ACTIVITY (59 頁) Further Activity (65 頁) INTRO ACTIVITY (49 頁) INTRO ACTIVITY (39 頁)</p>	55

	<p>c 情報を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明する</li> <li>・報告する</li> <li>・描写する</li> </ul> <p>d 考えや意図を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮定する</li> </ul> <p>e 相手の行動を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼する/許可する/助言する</li> </ul> <p>&lt;文法事項&gt;</p> <p>(ア) 不定詞の用法</p> <p>(イ) 関係代名詞の用法</p> <p>(ウ) 関係副詞の用法</p> <p>(エ) 助動詞の用法</p> <p>(オ) 代名詞のうち, itが名詞用法の句及び節を指すもの</p> <p>(カ) 動詞の時制など</p> <p>(キ) 仮定法</p> <p>(ク) 分詞構文</p>	<p>c</p> <p>INTRO ACTIVITY (87 頁)</p> <p>REVIEW ACTIVITY (44 頁)</p> <p>Further Activity (75 頁)</p> <p>d</p> <p>Further Activity (103 頁)</p> <p>e</p> <p>REVIEW ACTIVITY (36 頁),</p> <p>Further Activity (37 頁)</p> <p>(ア) LESSON 5 (50~55 頁)</p> <p>(イ) LESSON 9 (88~91 頁)</p> <p>(ウ) LESSON 9 (92~93 頁)</p> <p>(エ) LESSON 3 (30~35 頁)</p> <p>(オ) LESSON 6 (52~53 頁),</p> <p>LESSON 4 (42~43 頁)</p> <p>(カ) LESSON 2 (16~23 頁)</p> <p>(キ) LESSON 10 (98~101 頁)</p> <p>(ク) LESSON 7 (72~73 頁)</p>	
SEMINAR①~⑤	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1)-イ 読み手や目的に応じて, 簡潔に書く。</p> <p>(1)-ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどをまとめ, 発表する。</p> <p>(2)-ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら話すこと。</p> <p>(2)-イ 内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また, 書いた内容を読み返すこと。</p> <p>(2)-ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し, 実際に活用すること。</p> <p>(2)-エ 聞いたり読んだりした内容について, そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり, 自分の考えをまとめたりすること。</p> <p>&lt;【言語の働きの例】の取扱い&gt;</p> <p>d 考えや意図を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成する/反対する/主張する</li> </ul>	<p>(1)-イ</p> <p>SEMINAR① (26~27 頁)</p> <p>(1)-ウ</p> <p>SEMINAR② (46~47 頁)</p> <p>(2)-ア</p> <p>SEMINAR①~④ WORKSHOP 2 (27,47,67,85 頁)</p> <p>(2)-イ</p> <p>SEMINAR② (46~47 頁)</p> <p>(2)-ウ</p> <p>SEMINAR③ (66~67 頁)</p> <p>(2)-エ</p> <p>SEMINAR⑤ (104~106 頁)</p> <p>d</p> <p>SEMINAR⑤ (104~105 頁)</p>	15
後見返し	<p>&lt;【言語の働きの例】の取扱い&gt;</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き直す/繰り返す/言い換える</li> </ul>	<p>a</p> <p>CLASSROOM ENGLISH (後見返し)</p>	—
		計	70

※配当時間は以下を基準として計算.

LESSON 1~10

導入ページ: 0.5 時間/レッスン×10 レッスン=5 時間

文法ページ: 1 時間/パート×25 パート=25 時間

課末ページ: 2.5 時間/レッスン×10 レッスン=25 時間

SEMINAR ①~⑤

3 時間/回×5 回=15 時間